

合唱発表会

10月24日(土)、合唱発表会を行いました。スローガンは「奏でる岡中声」です。前期の学校生活と練習の様子をスライドショーで紹介したあと、学年合唱「1年：この星に生まれて 2年：空は今 3年：青葉の歌」を披露しました。臨時休校や分散登校のため、例年より音楽の授業時間も少なく、マスクを着用したり、ソーシャルディスタンスを確保したりしながらの練習でしたが、どの学級も団結力を発揮して、例年以上の「岡中声」を披露することができました。



岡方中だより

1年生 19名
2年生 34名
3年生 35名
全校 88名



全日本合唱連盟は、大地讃頌(日本語)を歌った時の飛沫到達距離は、最長61cmという実験結果を速報で発表しています。

合唱発表会の「ねらい」は、「合唱活動の成果」と「学級の団結力」の発表です。保護者の皆様にとって、我が子の合唱発表は魅力的なようです。例年、多くの学校でたくさんの方の保護者が参観します。

ところが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、新潟市内には保護者の参観をお断りしたり、学年ごとに実施したりしている学校があるようです。そんななか、岡中では、「新しい生活様式」を踏まえ、可能な限り感染予防対策を徹底した上で、全校生徒の合唱を公開することができて、本当によかったと思っています。わずか二十分の合唱発表に、百二名の保護者と七名の来賓の皆様からお越しいただきました。ありがとうございます。開閉会式や全校合唱など「あった方がいいけど、なくてもいいもの」は思い切って削減し、飛沫の飛ぶ時間を短縮しました。

視点を年間に変えても同様です。「体育祭」「修学旅行」「合唱発表会」は「攻め」の気持ちで、感染防止に取り組みながら実施しましたが、「岡方花の陣」「職場体験」「全校朝会」などは、規模を大幅に縮小したり中止したり、「守り」の気持ちで対応しました。一年中「攻め」ていると、疲労の蓄積から「思わぬ失敗」が考えられるからです。これからも、子どもたちの成長を第一に、「攻め」と「守り」を適切に判断していきます。ご理解・ご協力、よろしく願います。

学校で撮影した合唱発表会のDVDをお貸しいたします。ご希望の方は学級担任までお申し出ください。ただし、学校が所有するソフトウェアの関係で、パソコンで再生するデータになります。DVDプレーヤーでは再生出来ない場合があります。

スクールサポートスタッフ(SSS)

十月十三日(火)スクール・サポート・スタッフ(SSS)が着任いたしました。SSSは教職員の負担を軽減し、働き方改革を推進するために、文部科学省が提案した新しい職種です。

岡中のSSSは海老名 さんです。主に、新型コロナウイルス感染症対策業務をしていただいています。毎朝「健康観察票」の点検をしてから、空いている時間を見つけて、教室と特別教室・トイレ階段の机と椅子・出入り口・手すり・蛇口などの消毒をさせていただきます。

また、インターフォンや電話の対応、印刷業務、文書整理などのさまざまな業務もサポートしていただいています。

新潟市中学校新人大会

10月6日(火)新人大会がありました。すべての部が、17日(土)以降に開催される上位大会に進む権利を獲得することができました。

軟式野球 ブロック優勝

1回戦	対 葛塚中	8-0	勝
準決勝	対 新津第一中	7-0	勝
決勝	対 横越中	11-3	勝



バレーボール ブロック優勝

1試合目	対 山の下中	2-0	勝
2試合目	対 新津第一中	2-0	勝
3試合目	対 松浜中	2-0	勝
4試合目	対 葛塚・横越中	2-0	勝
5試合目	対 大形中	2-0	勝



卓球女子 東地区団体戦 ベスト8

予選リーグ	2位通過
1試合目	対 濁川中 4-1 勝
2試合目	対 亀田中 2-3 負
決勝トーナメント	
準々決勝	対 葛塚中 0-3 負



卓球男子 東地区団体戦 ベスト8

予選リーグ	2位通過
1試合目	対 横越中 5-0 勝
2試合目	対 光晴中 3-1 勝
3試合目	対 大江山中 1-3 負
決勝トーナメント	
1回戦	対 葛塚中 3-2 勝
準々決勝	対 早通中 1-3 負



激励会 激励の言葉

新しいメンバーでの最初の公式戦が始まります。コロナウイルスのために、最後の公式戦が中止になった先輩たちの意志を受け継ぎ、正々堂々と戦ってきてください。

新人大会は、来年の春の大会への通過点です。この大会で感じたことを、明日からの練習にどう生かしていくのが最も大事です。できれば、試合に勝って「やればできる」という自信をもつことがBESTですが、相手があることなので、負けることもあります。負けた悔しさをバネに、これからの練習で力をつけることも、すごく価値があることです。

勝負の場面で、最大の敵は、「自分の弱さ」です。「このサーブが入らなかつたらどうしよう」「あのフライ、思い切り走れば間に合うかもしれないけどエラーが怖い」などです。「自分の弱さに打ち克つ」経験を大いに積んで、心を鍛えてください。

皆さんの、これからの人生には、勝負の場面が次々と現れます。高校入試もその一つです。部活動で学んだことは、決して皆さんの人生にとって、無駄にはなりません。だから、三年生が部活動に励んだ二年間も、無駄だったとは、私は少しも思っていないです。選手皆さん、新人大会で、多くのことを学んでください。応援しています。